

つなみ いいおか つぶ 一年

忘れられた被災地・千葉飯岡で、ヨガ教室を始めた舞蹈家の女性がいる。彼女の言葉は被災者の体と心をほぐし、踊りは彼らを驚かせた。震災がなければ決して触れ合うことのなかった二つの世界が結び付く。

2011年3月11日、千葉県旭市では東日本大震災によって死者12名、行方不明者3名、全壊家屋336戸の被害を受けた。なかでも被害が甚大だった飯岡地区に、ゆふがほきは支援物資を運んだ。彼女は4人の子を持つシングルマザー。家事と仕事と支援活動で目の回るような忙しい毎日に加えて、毎年春と初冬に秦野の自然を背景に踊る。さらには飯岡でもダンスを披露したが、大好評のヨガと違ってその前衛的な表現は彼らに戸惑いをもたらした。

さらには「つぶ」という言葉をよく使う。その意味を尋ねても彼女は「いろんなところがあるので一言で言えない」とのみ。「つぶ」とはいったい何なのだろうか…

ゆふがほきは1959年生まれ。舞蹈家。4人の母。秦野ヨガ道場、港区の各児童館・各幼稚園・精神障害者施設などで様々なジャンルのヨガを行っている。

撮影 加瀬真司 日比博朋 守舞子 大宮直明
資料映像 北高司
写真 杉浦麻早子 楠木邦征
コピー 高井志野
デザイン 山口加奈子
使用曲 “Wiener Tagebuch #13” (千野秀一)
“春の息吹” (知浦伸司)
“小石” (the sleeping beauty)
“わっしょいタンゴ” (スミ☆アヤコ)他
協力 飯岡まちおこし実行委員会
旭津波被災者支援の会
ひまわりヨガ道場
豊岡児童館
高輪幼稚園
あいはーと・みなと
製作 CVP: Creators for Vulnerable People

監督 大宮直明
1961年生まれ
番組製作会社、国際協力機構職員を経てフリー
「おかぐら」(2008)「アプバとヤーバ」(2009)などを制作

みんな、誰かを助けたいと思った。それぞれのやり方で

ドキュメンタリー映画 つなみ いいおか つぶ 一年

「地方の時代」映画祭2012 上映作品

1月27(日)15時から いいおかユートピアセンター 入場無料

14:55 屏風ヶ浦鎮魂の儀 1
▼15:00 映画上映
16:15 屏風ヶ浦鎮魂の儀 2
▼16:15 トークショウ
(大宮直明監督 with ゆふがほきは)